

2019年5月22日

日本維新の会  
代表 松井一郎 様

部落解放同盟兵庫県連合会  
執行委員長 坂本三郎

日本維新の会公認候補 長谷川豊氏による

### 部落差別発言に対する抗議と申し入れ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

貴職におかれましては、部落差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃に向けた諸施策の推進にご尽力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、今年7月に予定されている第25回参議院選挙において、貴党が比例区公認候補とする長谷川豊氏が、今年2月24日におこなった講演のようすが5月15日にYouTubeにアップされました。

講演の中で長谷川氏は「日本には江戸時代にあまりよくない歴史がありました。土農工商の下に、穢多・非人、人間以下の存在がいます。でも、人間以下と設定された人たちも性欲などがあります。当然、乱暴なども働きます。一族野盗郎党となって、十何人で、取り囲んで暴行しようとしたとき、侍は大切な妻と子どもを守るためにどうしたのか。侍はもう刀を抜くしかなかった。でも、刀を抜いたときにどうせ死ぬんです。相手はプロなんだから、犯罪の。」と発言しています。

今回の長谷川氏の発言は「部落民はレイプ集団、プロの犯罪者集団」という偏見を広める重大な部落差別発言であり、断じて許すことはできません。断固抗議します。

また長谷川氏は今回の自らの発言について、謝罪するどころか、「かつてこのような暗い歴史があったという史実を述べる事が差別発言ですか。これが反維新のいつものやり方です。こうやって切り取り、悪意を持ってレッテル貼り。江戸時代の時代に暗い歴史があったと述べる部分を切り取り著作者の許諾を取り

もせず拡散。犯罪を平気で行うのがこの連中のやり口です」と反論していますが、自らの差別発言を肯定する極めて不誠実な対応であると言わざるをえません。

2016年12月に施行された「部落差別解消推進法」は、「部落差別は社会悪」であることを明確にし、国や自治体が、問題解決にむけて積極的な施策をとることを目的としたものであり、法成立には貴党にも大変なご尽力をいただきました。

私たちは今回の差別発言が「部落差別解消推進法」の制定にむけた貴党の努力やこれまでの同和行政の成果を踏みにじるものであり、貴党の公認候補のこうした差別発言が与える大きな影響も考慮すべきであると考えます。

つきましては、今回の趣旨を真摯に受け止めていただき、長谷川豊氏への公認取り消しと、本人からの見解と謝罪文の提出を強く求めます。